

令和2年度 事業計画

<会長挨拶>

3期6年務められた下村会長に代わり新会長に就任致しました、株式会社クリーク・アンド・リバー社代表取締役の井川幸広でございます。2020年度からの新事業年度をスタートするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

ニュービジネスに関係した初の経済団体として、由緒ある東京NBCの会長職を務めることは、大変光栄であると共に、歴代会長を務められた錚々たる方々の後を継ぐことに重責を感じております。

副会長、理事、事務局各位の協力を得て全力を尽くす所存です。

会員の皆様のご指導ご支援を心からお願い致します。

昨今の新型コロナウイルス感染拡大により、世界的な危機意識と経済低迷が引き起こされています。波乱の幕開けとなった中での会長就任は、30年前の様相と重なり不安と期待が入り乱れた当時を思い出します。

フリーのテレビディレクターから一転、プロフェッショナルの生涯価値向上を掲げ、クリーク・アンド・リバー社を創業したのが、バブルが崩壊した1990年。倒産件数がうなぎのぼりに増え、不況不況と世の中が灰色に染まりかけていた中での起業でした。マンションの一室を間借りして、僅か3人からのスタートでしたが、社会の情勢とはうらはらに、初声を上げたばかりの会社の見えない未来に、心は不思議とワクワク感に満ちていたことを昨日のことに様に覚えています。

いつの時代でも困難な時にこそ、逆境はチャンスに代わります。

「風に流されるのではなく、向って行ってこそ風は高く舞い上がる」イギリスの元首相チャーチルの名言です。起業や独立は、人生を賭けての一大イベントです。しかし一説にはベンチャー企業の生存率は、創業から5年後は15.0%、10年後は6.3%と言われています。大義をもって事業を興したにも関わらず、10年後には実に多くの会社が廃業しています。

成長か廃業か、その違いは何なのか。戦略性、技術力、ブランド力、資金力、、、経営を左右する要素はあまりにも複雑すぎて明快な回答は持ち合わせていませんが、その謎解きに大きな影響を与えるのが、いつの時代でも、賢者の叢智です。

ゼロから日本を代表する企業に育てられた方、世界シェアナンバー1の商品を作り出した方、多くの企業を再生させた方。NBCの歴史を紐解けば解くほど、そこには実に様々なキャリアと見識を兼ね備えた会員や諸先輩がいらっしゃいます。人間力を磨き、自己改革を促すことができる「気づき」と「チャンス」が豊富に揃っています。

生まれも育ちも年齢も業態も違えども、経営という責任を担った者同士が、耳を傾け、励ましあい、知恵を出し合い、未来を語り合う。

会長就任に際して、頭を悩ませたのはその仕組み作りです。これまでに受け継がれたNBC文化を継承し、「変えてはいけないもの、変えなければならないもの」を見極め、さらなる成長を目指すにはどうすべきか。

まだ結論には至っていませんが、社業発展の原動力のベースにNBCを位置づけることができれば、会員の皆さんは勿論のこと、次世代の起業家に勇気と希望を与え、やがてそれは大きな塊となって、日本経済に活気と活力を与え続ける存在になると確信します。

これからの日本は急激な人口減と超高齢化社会に突入します。まだ世界のどの国も経験したことがない問題に直面します。デジタルをキーワードに国境も業界も垣根がなくなり、「IoT」「AI」「5G」は、社会インフラとして全産業にイノベーションを生み出します。そして企業規模ではなく、常に変化し続けることが企業成長の尺度になります。変化は痛みが伴います。それを遂行するリーダーの力量が、今まで以上に問われる時代になります。

事業創造と企業革新は、経営トップに課せられた使命です。激動の時代であっても、事業を創り、雇用を生み出し、事業を安定的に成長させるには何が必要か。東京NBCの会長として取り組むべき課題はこの答えを見つける事です。各委員会活動やコミュニティーを通じてリーダーとしての資質を磨き、器を拓げ、会員の皆さんひとりひとりの自社の成長に寄与できる場とする事ができれば、東京NBCは会員の皆さんにとって無くてはならない存在になります。理想かもしれませんが、それが唯一の答えならば、私はその理想の実現に向けてチャレンジしてまいります。

最後に、重ねてではございますが、東京NBCの会員の皆様方には、引き続きご支援ご高配を賜りますよう、宜しくお願い致します。

<運営方針>

本年度は、前年度の部門・委員会を踏襲し、**6部門、12委員会に集約**します。加えて横断的テーマをミッションとする、**特別プロジェクト(3プロジェクト)**を推進します。

リーダーとしての見識を高めるとともに、会員や先輩ベンチャー経営者との交流、また同じステージ、同じ課題にある会員同士の交流を促進し、NBCのベンチャースピリットを学び継承すると共に、会員企業の社業発展の寄与を目指します。

I. 委員会・部会等の活動基本骨子

委員会の構成は、別添組織図とし、部門等の役割は以下のとおりとします。また研究部会の扱いは従来通りとするものの、申請時のみならず活動の継続性についても審査し、一定人数以上による継続的運営を重視します。

(1) 組織構成

全体を、**6部門・1特別プロジェクト**、とします。

また、その部門に合わせて委員会・プロジェクトを組成し、事業活動を行います。

(2) 正副会長会議

各部門担当である副会長から、委員会活動や運営等における課題や改善策の提案をし、理事会に諮る議案等を検討します。

(3) 部門・特別プロジェクト

各々に、担当副会長・PJ長を置き、所属する委員会・PJの運営に関わり、部門・PJを管掌します。

<事業・活動>

I. 委員会・研究部会等事業計画

1. 委員会活動

(1) 企業経営部門 <担当：森 啓一 副会長>

既存事業の革新、次代事業の研究など、変革と経営を学ぶ部門

① 企業革新委員会 <委員長：藤田 陽司 理事>

IoT、AI等の先進的事例を含め、個別企業の革新的な事例や変遷について学ぶ委員会。

② 若手経営者委員会 <委員長：西川 心二 理事>

若手社長が自社事業における経営課題等を先輩経営者から学びつつ、イノベーション全般についても学ぶ委員会

(2) 事業創出部門 <担当：田中 豊 副会長>

起業全般を支援・応援する部門

① 起業家ミートアップ委員会 <委員長：青木 正之 理事>

スタートアップとVC、或いは大企業とのコラボなど、ハンズオンも含めての創業後を支援し、ニュービジネス（アントレプレナー）の創出を目指す委員会。

② ベンチャー創出委員会 <委員長：星野 善宣 理事>

大学等への出講やインターンシップも含めた学生、或いは社会人などの起業を志す人たちへの起業啓発を行う委員会

(3) 国際部門 <担当：深沢 栄治 副会長>

グローバルを体感する部門

① 国際ビジネス委員会 <委員長：辰野 元信 理事>

海外進出企業やインバウンド事業会社の創業経営者等の考え方やビジネスモデルの学習をはじめ、実際に海外進出する際のグローバルビジネス全般について学ぶ委員会。

② 国際交流委員会 <委員長：谷村 真 会員>

グローバル大賞の選考と表彰式開催、海外視察会の企画・運営、更にはWAOJEとの交流など、広く国際的なネットワーク構築を目指す委員会。

(4) 交流部門 <担当：西村 剛敏 副会長>

他地域 NBC や他団体との交流を通じた仲間づくりと、会員増を目指す部門

① 会員交流委員会 <委員長：渡部 佳朗 理事>

サマーカレッジ、クリスマスパーティ、新入会員ウエルカムパーティなど会員の相互交流を行う委員会

② ニッポンつながる委員会 <委員長：吉田 裕之 理事>

他地域 NBC や東京 JC を中心とした他団体との交流、定例会（年2回）や新入会委員のプレゼンや会員増を行う委員会

(5) 政策活動部門 <担当：高橋 ゆき 副会長>

女性の活躍推進や働き方改革など政策に関する部門

① 女性活躍推進委員会 <委員長：今野 政代 会員>

ライフワークバランスを含めて、女性が活躍する為の様々な活動を行う委員会。

② 政策提言委員会 <委員長：坂田 生子 理事>

東京都との連携を含め、助成金・補助金に関する情報提供や規制改革に対する政策提言を行う委員会。

(6) パブリック・リレーションズ部門 <担当：湯川 智子 副会長>

対外的な認知度向上を目指す部門

① アワード委員会 <委員長：木地本 朋奈 理事>

起業後の一つの夢でもある IPO を顕彰する IPO 大賞表彰式の企画・運営と、新たに年間を通じて活躍した会員や会員企業の功績を顕彰し、会の活性化に貢献する委員会。

② 広報委員会 <委員長：山田 直大 理事>

SNS を上手に活用する企業広報を学ぶと同時に、事務局からのメルマガ発信やブリテンの製作など、トータル的な情報発信を学ぶ委員会

(7) 特別プロジェクト <担当：倉橋 泰 特別理事>

東京 NBC レジェンド会員や OB/OG との学びと交流の部門

① プロジェクト1【レジェンド倶楽部】

退会された 創業経営者を含む「レジェンド」と呼ばれる経営者の方々と、年2回程度勉強会や懇談会を開催し、先輩経営者から経営道を学ぶ特別倶楽部。現役会員と諸先輩方とのコミュニティーを形成し、セミナーや座談会は勿論のこと、経験に裏付けされた見識と人脈を、ぜひアールステージの経営に活かしてもらいたく、顧問やアドバイザーとしての派遣等も検討します。

② プロジェクト2【事業プロデュース】

会員の皆さんの企業と企業、事業と事業、人と人を結びつけるプロデュース部隊を創ります。積極的に企業のニーズとシーズを結びつけ、当事者同士では気付かないシナジーを創り出します。

③ プロジェクト3【機構改革と広報】

組織のコンプライアンスは勿論、未来の東京NBCを見据えた、役職の職責、登用、任期の制度を検討します。併せて会員企業の広報宣伝活動に、東京NBCだからこそ露出できる活動を推進します。

*上記の3つのプロジェクトは委員会制度ではなく、会員を縦横無尽に繋ぐ、サッカーでいえばリベロのような存在です。詳細はこれから副会長や理事の方々と検討し、夏までには実行できるように取り組みます。

2. 研究部会活動

申請は、従来通り申請者が5人の賛同者を募り、計6人によるものとする。活動後の各研究部会の存続は、①年4回以上開催する、②平均出席者数が6人を下らない、ことを一応の条件とし、この条件未達の場合は存続につき再検討する。尚、研究部会の活動に係る諸業務は、部会長の自主的運営を原則とする。

以上

令和2年度 収支予算

単位:千円

収 入		支 出																																																																																																																																																																											
<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">会費収入</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">53,000</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td> 内正会員収入</td> <td style="text-align: right;">47,600</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 準会員収入</td> <td style="text-align: right;">1,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 役職会費収入</td> <td style="text-align: right;">4,400</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>入会金収入</td> <td style="text-align: right;">(50名)</td> <td style="text-align: right;">5,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">(▲1,000)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>本部事業収入</td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">(1,000)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 内 賀詞交歓会</td> <td style="text-align: right;">1,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 定時総会</td> <td style="text-align: right;">1,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>委員会事業収入</td> <td></td> <td style="text-align: right;">8,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">(▲1,000)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 内 合宿</td> <td style="text-align: right;">1,800</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 定例会</td> <td style="text-align: right;">700</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> クリスマスパーティー</td> <td style="text-align: right;">1,800</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> G人財フォーラム</td> <td style="text-align: right;">1,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 他</td> <td style="text-align: right;">2,700</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	会費収入		53,000		内正会員収入	47,600			準会員収入	1,000			役職会費収入	4,400			 				入会金収入	(50名)	5,000				(▲1,000)		 				本部事業収入		2,000				(1,000)		内 賀詞交歓会	1,000			定時総会	1,000			 				委員会事業収入		8,000				(▲1,000)		内 合宿	1,800			定例会	700			クリスマスパーティー	1,800			G人財フォーラム	1,000			他	2,700			<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">本部事業費</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: right;">8,100</td> <td style="width: 30%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">(▲1,400)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 定時総会</td> <td style="text-align: right;">1,500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 賀詞交歓会</td> <td style="text-align: right;">1,500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> IPO大賞</td> <td style="text-align: right;">800</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> アワード大賞</td> <td style="text-align: right;">500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> G人財フォーラム</td> <td style="text-align: right;">1,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> ブリテン</td> <td style="text-align: right;">1,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> キックオフ大会</td> <td style="text-align: right;">700</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他</td> <td style="text-align: right;">1,100</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>委員会事業費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">12,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">(▲600)</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 委員会事業収入兩建分</td> <td style="text-align: right;">8,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>JNB事業費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">900</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 内 JNB年会費</td> <td style="text-align: right;">600</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> JNB副会長費</td> <td style="text-align: right;">300</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>管理費</td> <td></td> <td style="text-align: right;">47,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td> 内人件費</td> <td style="text-align: right;">23,000</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> 施設費</td> <td style="text-align: right;">20,500</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td> その他管理費</td> <td style="text-align: right;">3,500</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	本部事業費		8,100				(▲1,400)		定時総会	1,500			賀詞交歓会	1,500			IPO大賞	800			アワード大賞	500			G人財フォーラム	1,000			ブリテン	1,000			キックオフ大会	700			その他	1,100			 				委員会事業費		12,000				(▲600)		委員会事業収入兩建分	8,000			 				JNB事業費		900		内 JNB年会費	600			JNB副会長費	300			 				管理費		47,000		内人件費	23,000			施設費	20,500			その他管理費	3,500		
会費収入		53,000																																																																																																																																																																											
内正会員収入	47,600																																																																																																																																																																												
準会員収入	1,000																																																																																																																																																																												
役職会費収入	4,400																																																																																																																																																																												
入会金収入	(50名)	5,000																																																																																																																																																																											
		(▲1,000)																																																																																																																																																																											
本部事業収入		2,000																																																																																																																																																																											
		(1,000)																																																																																																																																																																											
内 賀詞交歓会	1,000																																																																																																																																																																												
定時総会	1,000																																																																																																																																																																												
委員会事業収入		8,000																																																																																																																																																																											
		(▲1,000)																																																																																																																																																																											
内 合宿	1,800																																																																																																																																																																												
定例会	700																																																																																																																																																																												
クリスマスパーティー	1,800																																																																																																																																																																												
G人財フォーラム	1,000																																																																																																																																																																												
他	2,700																																																																																																																																																																												
本部事業費		8,100																																																																																																																																																																											
		(▲1,400)																																																																																																																																																																											
定時総会	1,500																																																																																																																																																																												
賀詞交歓会	1,500																																																																																																																																																																												
IPO大賞	800																																																																																																																																																																												
アワード大賞	500																																																																																																																																																																												
G人財フォーラム	1,000																																																																																																																																																																												
ブリテン	1,000																																																																																																																																																																												
キックオフ大会	700																																																																																																																																																																												
その他	1,100																																																																																																																																																																												
委員会事業費		12,000																																																																																																																																																																											
		(▲600)																																																																																																																																																																											
委員会事業収入兩建分	8,000																																																																																																																																																																												
JNB事業費		900																																																																																																																																																																											
内 JNB年会費	600																																																																																																																																																																												
JNB副会長費	300																																																																																																																																																																												
管理費		47,000																																																																																																																																																																											
内人件費	23,000																																																																																																																																																																												
施設費	20,500																																																																																																																																																																												
その他管理費	3,500																																																																																																																																																																												
合 計		68,000	合 計																																																																																																																																																																										
		(▲2,000)	68,000																																																																																																																																																																										
			(▲2,000)																																																																																																																																																																										

注:①下段()内は対前年予算比

②委員会事業費のうち8,000千円は収入と兩建計上